

府内におけるコナジラミ類の発生状況

平成21年の府内におけるコナジラミ類の発生分布を、夏期（6～7月）に36ほ場、秋期（10～11月）に23ほ場について、調査したところ以下の結果であった。

1 本年の発生状況

- (1) タバココナジラミは、夏期：33.4%、秋期：60.8%の施設で発生が認められた（オンシツコナジラミとの混発施設も含む）。各地域とも、秋期の発生が多かった。
- (2) オンシツコナジラミは、夏期：55.6%、秋期：82.6%の施設で発生が認められた（オンシツコナジラミとの混発施設も含む）。各地域とも、秋期の発生が多かった。
- (3) 夏期の調査では、タバココナジラミの発生が京都市、久御山町、八幡市、城陽市、南山城村及び綾部市で認められた。
- (4) 秋期の調査では、タバココナジラミの発生が京都市、久御山町、八幡市、京田辺市、木津川市、和束町及び京丹後市で認められた。

2 コナジラミ類の経年変化

- (1) 山城地域でのオンシツコナジラミ（混発ほ場も含む）の発生ほ場率は、平成18年から21年にかけて、夏期では20.6%から47.6%に、秋期では38.1%から80.0%となり、増加傾向が認められる。
- (2) 丹波・丹後地域でのオンシツコナジラミ（混発ほ場も含む）の発生ほ場率は、平成18年から21年にかけて、夏期では16.7%から66.6%に、秋期では39.1%から87.5%となり、増加傾向が認められる。

(データは省略)